

令和6年2月19日 開会・閉会

令和6年2月

富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録

富山地区広域圏事務組合議会

本定例会に付議された議案件名

議案第 1 号 令和 6 年度富山地区広域圏事務組合一般会計予算

議案第 2 号 令和 5 年度富山地区広域圏事務組合一般会計補正
予算（第 1 号）

令和6年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録 目 次

全	号（2月19日）	
議 事 日 程		1
本日の会議に付した事件		1
出・欠席議員の氏名		2
説明のため出席した者		3
職務のため議場に出席した職員		3
開	会	4
開	議	4
議 席 の 指 定		4
会議録署名議員の指名		4
会 期 の 決 定		5
提案理由の説明		5
議案の質疑・討論・採決		9
理 事 長 挨 拶		10
閉	会	10

議 事 日 程

令和6年2月19日(月)
午後3時8分 開議

- | | |
|----|-------------|
| 第1 | 議席の指定 |
| 第2 | 会議録署名議員の指名 |
| 第3 | 会期決定の件 |
| 第4 | 議案第1号、議案第2号 |
-

本日の会議に付した事件

- | | |
|------|-------------|
| 日程第1 | 議席の指定 |
| 日程第2 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第3 | 会期決定の件 |
| 日程第4 | 議案第1号、議案第2号 |

出席議員（17人）

1	番	金	岡	貴	裕
2	番	藤	田	克	樹
3	番	織	田	伸	一
4	番	高	原		讓
5	番	髮	口	清	隆
6	番	岡	部		享
7	番	高	道	秋	彦
8	番	尾	崎	照	雄
9	番	堀	田	喜	男
10	番	村	上	紀	義
11	番	松	尾		茂
12	番	尾	上	一	彦
13	番	谷	口	寿	一
14	番	原			明
15	番	松	谷	英	真
16	番	前	原	英	石
17	番	金	厚	有	豊

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

理	事	長	藤	井	裕	久
副	理	長	舟	橋	貴	之
理		事	水	野	達	夫
理		事	中	川	行	孝
事	務	事	渡	辺	周	光
会	計	局	杉	本	利	児
事	務	管	高	畠		明
ク		理	開	澤		聡
リ		次	梅	澤		博
生		所	熊	本		正
衛		長	北	野	浩	行
生						
セ						
ン						
タ						
ー						
所						
長						

職務のため議場に参加した職員

ク	リ	生	セ	ン	タ	ー	所	長	代	理	福	村	紀	之
事	務	局	副	主	幹						塩	岡	睦	美

——◇ ◇ ◇——

開 会

午後３時８分 開会

○議長（金厚有豊 君）

それでは、２月定例会の本会議を進めたいと思います。

ただいまから、令和６年２月 富山地区広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

——◇ ◇ ◇——

開 議

午後３時８分 開議

○議長（金厚有豊 君）

日程に入ります前に、本日の欠席議員について、ご報告申し上げます。欠席なしでございます。都合により欠席との届出がありませんでしたので、ご報告いたします。

○議長（金厚有豊 君）

会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

——◇ ◇ ◇——

議 席 の 指 定

○議長（金厚有豊 君）

これより、日程第１ 議席の指定を行います。

今回、新たに当選されました滑川市選出の 原 明 君、立山町選出の 髪口 清隆 君、同じく 村上 紀義 君の議席につきましては、会議規則第４条第２項の規定により、議長において、お手元に配布してあります新議員名簿のとおり、指定いたします。

——◇ ◇ ◇——

会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

○議長（金厚有豊 君）

これより、日程第2 会議録署名議員の指名を行います。
会議規則第96条の規定により、会期中の会議録署名議員に、2番 藤田 克樹 君、7番 高道 秋彦 君、16番 前原 英石 君を指名いたします。

◇ ◇ ◇
—— 会 期 の 決 定 ——

○議長（金厚有豊 君）

次に、日程第3 会期決定の件を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。
これに御異議ありませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○議長（金厚有豊 君）

御異議なしと認めます。
よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 提 案 理 由 の 説 明 ——

○議長（金厚有豊 君）

次に、日程第4 議案第1号及び議案第2号を一括議題といたします。
理事長から提案理由の説明を求めます。

（ 藤井理事長 登壇 ）

○理事長（藤井裕久 君）

令和6年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件の概要について申し上げます。

我が国の景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されてお

ります。

しかしながら、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響や、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分注意する必要があるなど、地方公共団体を取り巻く環境は、依然として厳しいものとなっております。

さらに、地球温暖化の進行や気候変動がもたらす異常気象をはじめ、様々な環境問題に直面し、持続可能な社会への変革が一層求められるなか、一般廃棄物行政における地方自治体の責務と役割も、ますます大きなものとなっております。

環境問題は、人間の社会経済活動、ひいては、私たち一人ひとりの便利で快適なライフスタイルと密接に関係しており、その影響は、私たちのみならず、未来の子どもたちにまで及ぶことになります。

富山の美しく豊かな自然と暮らしやすい生活環境を将来の世代に末永く引き継いでいくためにも、住民、事業者、行政が一体となり、環境への負荷をできるだけ少なくする循環型社会の構築に向けた取り組みを継続していく必要がございます。

このため、当組合では、厳しい財政状況を踏まえて、さらなる事務事業の見直しを進めるとともに、構成市町村と連携を図りながら、廃棄物の減量化・再資源化に取り組み、環境行政を推進してまいり所存でございますので、議員各位の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

次に、ごみの減量化やリサイクルの状況について申し上げます。

当組合の構成市町村から排出される可燃ごみの量は、令和3年度が約14万6,000トン、令和4年度が約14万7,000トンとなるなど、ここ数年は、年間15万トンを下回って推移しております。

また、不燃ごみにつきましては、令和3年度が約5,800トン、令和4年度が約5,500トンとなっており、急速な少子高齢化の進行に伴う人口減少をはじめとする社会構造の変化や、リサイクルの推進等により、今後の廃棄物発生量は引き続き減少していくものと考えられます。

当組合としましては、循環型社会へと進みつつある将来におきましても、安定した組合経営や構成市町村の負担軽減等が図られるよう、組合の経営方法等について、今後も検討してまいりたいと考えております。

次に、クリーンセンターについて申し上げます。

可燃ごみの焼却処理については、ダイオキシンなどの環境汚染物質の

発生を抑制し、安全面と衛生面に万全を期した施設運営を行うとともに、焼却熱を利用した発電等により、経費の節減にも努めてまいります。

また、一般廃棄物処理施設整備基金を活用し、設備更新計画に基づき経年劣化した設備の更新を実施することとしており、令和6年度は燃焼ガス冷却設備をはじめ各種設備の整備を行い、安定的、継続的な施設の運営管理に努めてまいりたいと考えております。

なお、下水由来の助燃剤の焼却については、発電による再生利用として、今後も推進してまいります。

次に、リサイクルセンターについて申し上げます。

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき昨年11月に国の認定を受けました再商品化計画に従い、構成市町村のなかで先行して実施する富山市と緊密に連携し、プラスチック資源の一括回収及び再商品化に取り組みます。

また、リサイクルセンターの設備整備については、設備更新計画に基づき、令和6年度は粗大ごみ処理施設で荷積み作業に必要なパレタイザロボットの更新などを実施してまいります。

リサイクルプラザにおいては、不用となった自転車や家具などのリサイクルを通じて、再利用の促進を図るとともに、廃棄物の抑制に努めてまいります。

次に、衛生センターについて申し上げます。

し尿・浄化槽汚泥の搬入量につきましては、下水道普及率の向上や人口減少などの要因があるものの、近年は横ばいの傾向にあり、令和3年度が約2万2,200キロリットル、令和4年度が約2万2,300キロリットルとなっております。

衛生センターの施設整備については、昭和58年に建設されたし尿処理棟の老朽化が著しいため、今年度に策定する長寿命化総合計画に基づき、施設整備を行うための設計・施工等の発注に係る支援業務委託や測量・地質調査等を実施します。

引き続き住民の快適な生活環境の実現を図るとともに、循環型社会に対応し、環境に配慮した資源再生を目指して、施設の適正な管理・運営に努めてまいります。

次に、エコロセンターについて申し上げます。

構成市町村で捕獲されたイノシシなどの有害鳥獣の焼却処分については、引き続き環境への負荷軽減に努め、安全かつ計画的に焼却施設の運営管理を行ってまいりたいと考えております。

次に、常願寺ハイツスポーツ公園について申し上げます。

当施設につきましては、平成18年度から指定管理者制度を導入して

おります。

毎年、民間事業者のノウハウを活かした、各種スポーツ・健康教室などが開催され、多くの住民の利用があり、指定管理者制度の導入が大きな成果を上げているものと評価をしております。

今後とも、指定管理者と連携を図りながら、地域住民のスポーツ振興と健康増進に努めてまいりたいと考えております。

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

まず、令和６年度一般会計であります。予算規模については、対前年度当初予算比６．２％増の４０億５，８０３万余円を計上しております。

歳入予算では、クリーンセンターの余剰電力売払収入において、これまで高い金額で保障されてきた国の固定買取制度が昨年７月末で終了していることから、通年での減収分について構成市町村の負担金で補填することとしております。

また、歳出予算では、設備更新計画に沿って基金を繰入れて行う施設整備費が増額となるとともに、焼却灰や有害ガス等の処理薬品や整備用消耗品等の価格高騰、修繕料の増など、施設の維持管理費が増加しており、令和６年度予算では、前年度に比べて構成市町村の負担が大きくなっております。

歳出予算の内訳といたしましては、組合費では、議会費として１２７万余円、事務局費として３，９９５万余円、第２次救急医療対策事業を実施する圏域内５病院に対し、補助を行う衛生費として３，４６１万余円、常願寺ハイツスポーツ公園の維持管理費として２，２００万余円を計上しております。

清掃事業等に係る衛生費では、ごみ処理事業費については、クリーンセンターの設備更新に要する経費や管理・運営に要する経費など、２８億５，８３６万余円を計上しております。

リサイクル事業費については、リサイクルセンターの設備更新に要する経費のほか、施設の維持管理やリサイクル活動推進費、容器包装廃棄物及びプラスチック資源の中間処理に要する経費など、６億２，７９０万余円を計上しております。

し尿処理事業費については、衛生センターの施設整備に要する経費や管理・運営に要する経費など、３億５００万円を計上しております。

施設建設事業費については、一般廃棄物処理施設整備基金の運用益を基金に積み立てる経費として、８１万余円を計上しております。

有害鳥獣処理事業費については、有害鳥獣焼却施設の管理・運営に要する経費など、６，０２８万余円を計上しております。

公債費については、施設整備に係る組合債の元利償還金１億２８１万余円及び予備費として５００万円を計上しております。

次に、令和５年度一般会計補正予算の概要について申し上げます。

令和５年度一般会計補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ１３億７，２４０万円を追加し、歳入歳出予算の総額を５１億９，３９８万２千円としております。

歳出予算の内容につきましては、まず、組合費において、地方財政法の規定に基づき令和４年度の決算剰余金の一部を財政調整基金へ積み立てるものとして、４億５，０００万円の増額補正を行うものであります。

また、衛生費では、リサイクル事業費において、缶プレス品などのリサイクル品売払収入などが当初見込みを上回ったことから、構成市町村へ支払うリサイクル報償金などの経費について４，８００万円の増額補正を行うものであります。

さらに、施設建設事業費では、令和４年度の決算剰余金の一部と、今年度の歳入において当初見込みを上回った余剰電力売払収入の一部を一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てるものとして、８億７，４４０万円の増額補正を行うものであります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議のうえ、議決を賜りますようお願いを申し上げます

◇ ◇ ◇
——— 議案の質疑・討論・採決 ———

○議長（金厚有豊 君）

これより、議案第１号及び議案第２号を一括して、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

○議長（金厚有豊 君）

質疑なしと認めます。
以上で、質疑は終結しました。

○議長（金厚有豊 君）

これより、議案第１号及び議案第２号を一括して、討論に入ります。
討論はありませんか。

○議長（金厚有豊 君）

討論なしと認めます。

以上で、討論は終結しました。

○議長（金厚有豊 君）

これより、議案第1号 令和6年度富山地区広域圏事務組合一般会計予算、議案第2号 令和5年度富山地区広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）、以上2件を一括して、採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○議長（金厚有豊 君）

御異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案のとおり可決されました。

以上で、本定例会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

藤井理事長挨拶。

——— ◇ ◇ ◇ ———
理 事 長 挨 拶

○理事長（藤井裕久 君）

議員各位には、市町村議会開会前の大変お忙しい中、富山地区広域圏事務組合2月定例会に御出席をいただき、誠にありがとうございました。

また、ただいま提出いたしました案件につきまして、議決をいただき、重ねて厚く御礼を申し上げます。

暦の上では、すでにもう春ということでございますが、まだまだ寒い日が続く予報もありますので、議員各位には、健康に十分御留意をされまして、今後とも、当広域圏発展のため、御尽力、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

——— ◇ ◇ ◇ ———
閉 会

○議長（金厚有豊 君）

本日は、ご苦労様でございました。

令和6年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会を閉会いたします。

午後3時25分 閉会